

2022年4月1日

原料費調整制度に基づく2022年5月分検針分のガス料金について

新発田ガス株式会社

新発田ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づきまして、2022年5月分検針分の調整単位料金（1-1地区）を算定いたしました。

尚、平均原料価格につきましては2021年12月～2022年2月のLNG原料価格（貿易統計数字）により算定しております。

1. ガス料金

(1) 一般ガス供給約款料金表（1-1地区）

(消費税10%込)

	A料金	B料金	C料金
月間使用量	0～24 m ³	25～338 m ³	339 m ³ ～
基本料金（円/月）	1,045.00 円	1,364.00 円	4,690.40 円
調整単位料金（円/m ³ ）	149.15 円	135.95 円	126.11 円

(各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます)

2. 原料価格の変動

(1) 原料価格の実績

(円/t)

算定期間	2021年12月～2022年2月からの平均
平均原料価格（LNG）	90,030 (a)

基準平均原料価格（LNG）	39,090 (b)
---------------	------------

差額(a-b)	50,900 (100円未満切捨)
---------	-------------------

※平均原料価格（LNG）は貿易統計値から算出

(2) 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による原料費調整額の算定>

■平均原料価格の算定

貿易統計値	数量 (t)	価額(千円)
12月分 LNG 価格	7,035,832	596,883,991
1月分 LNG 価格	6,786,414	556,634,780
2月分 LNG 価格	7,108,031	676,222,965
合計	20,930,277	1,829,741,736

LNG 平均価格(貿易統計値)

$$1,829,741,736 \text{ 千円} \div 20,930,277 \text{ t} \times 1,000 \text{ 円} = 87,420.80843 \text{ 円/t}$$

↓ (10円未満四捨五入)

$$= 87,420 \text{ 円/t}$$

$$87,420 \text{ 円/t} \times 1.0299 \text{ (LNG への熱量換算係数} \times \text{数量構成比)}$$
$$= 90,033.858 \text{ 円}$$

↓ (10円未満四捨五入)

$$= 90,030 \text{ 円/t}$$

平均原料価格は 90,030 円/t となります。

■原料価格変動額の算定 (平均原料価格が基準平均原料価格以上の場合)

$$90,030 \text{ 円/t} - 39,090 \text{ 円/t} (* \text{基準平均原料価格}) = 50,940 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$= \underline{50,900 \text{ 円/t}}$$

* 基準原料価格は LNG 平均価格(H28.3~5の貿易統計値) に基づき計算した数値です。

■原料費調整額 (1 m³あたり調整額) の算定

$$\text{原料費調整額} = \underline{0.077} (*) \times 50,900 \text{ 円} \div 100 \text{ 円} \times (1+0.10) = 43.1123 \text{ 円}$$
$$= \underline{43.1123 \text{ 円}}$$

注意: 調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.077 円 × 原料価格変動額 / 100 円 × (1 + 消費税率)
の計算結果に対して小数点第3位以下切り捨てとなります。

*A 料金の場合の調整単位料金の計算例

$$106.04 \text{ 円} + 0.077 \text{ 円} \times 50,900 \text{ 円} \div 100 \text{ 円} \times (1+0.10) = 149.1523$$
$$= 149.15 \text{ 円 (小数点第3位以下切り捨て)}$$

参考: 基準単位料金は以下のとおりです。 (消費税 10% 込)

(新発田地区)	A 料金	B 料金	C 料金
基準単位料金 (円/m ³)	106.04 円	92.84 円	83.00 円

※ 0.077 は原料価格の価格変動 100 円につき、ガス 1 m³ 当たり調整する金額です。